

郷土の産業や技術を学ぶ

理数科2年企業研修を実施



平成28年10月25日(火)、理数科2年39名が県内6社を訪問してSSH企業研修を実施しました。SSH企業研修は平成24年度にスタートして、今回で5回目になります。郷土の産業と技術を理解し、地域や国際社会に貢献する人材を育成するために実施しているものです。理数科2年生は3グループに分かれ、午前と午後に各1社の合計2社で研修を行いました。そして、企業での生産や製品開発の工場見学や講義を通して、大学や研究機関とは違う研究開発の様子を学びました。

株式会社佐原で製品開発の説明を受ける理数科2年生

今後はSSH企業研修で学んだ事をまとめて、企業のものづくりをPRする英語のポスターを作成します。そして、12月14日に実施する「SSH企業研修英語ポスター発表会」で岩手大学の先生や外国人留学生、学生に紹介する英語発表会で、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上を目指します。見学先(順不同)と概要は以下の通りです。

谷村電気精機株式会社(北上市)

医療機器から両替機や券売機まで、企業の要望したものをオーダーメイドで設計・製造している会社の概要について説明を受けた。また、大型の機械で金型を切る製造の工程を見学した。オートメーションが出来ない人間の手作業で作り出す製品開発を学び、ものづくりに対する情熱を学んだ。

株式会社ジャパンセミコンダクター(北上市)

東芝グループの半導体製造工場で大規模な工場での生産の様子を目の当たりにした。水高OBにも対応してもらい、半導体が今後益々重要な役割を果たし、大切になるという説明を受けた。また、企業内研修が充実しており、スキルアップのため働きながらも学ぶ事が大切だということ学んだ。

吉川化成株式会社東北工場(奥州市)

プラスチック加工に優れた技術を持つ企業で、床下の収納庫から最先端技術を駆使した自動車用レンズ等の製品の説明と最先端の研究開発の方法について、約1時間の説明を受けた。その後工場内の見学をした。社会においては、「挨拶」と「他人と協調して働くこと」の大切さを学んだ。

株式会社デジアイズ(奥州市)

スーパーのパッキング機械やレジスターなどコンピュータプログラミングをされた主力商品について約20分説明を受けた。その後、広大な工場の見学をした。大学での研究との違いについて話を聞き、高校の学習内容では物理の大切さを強調された。

千住スプリンクラ株式会社(一関市)

会議室で会社の沿革や歴史、製品開発についての説明を聞き、工場見学をした。その後、技術開発担当者による講義を受けた。地元企業でも世界基準で勝負できる技術を持ち、最先端の製品開発をしていると知り刺激を受け、地域の産業に理解を深めた。

株式会社佐原(一関市)

以前はガラス工芸を主力にしていたが、現在は形状記憶合金を用いた空調設備を開発したことなど、製品開発についての説明を聞いた。その技術がNASAのロケット開発に採用されていることなど「リアル下町ロケット」の話に興味を持ち、多くの質問をするなど生徒は積極的に研修した。